

第8回楽暮プロジェクト・セミナー：障害のある方とのコミュニケーション

スイッチとシンボルで広がる子どもの世界

障がいのある方とかかわる中で、コミュニケーションについて悩まれたことはないでしょうか？通じ合えないことほど、大変なこと、つらいことはありません。

楽暮プロジェクトは、コミュニケーション支援に関する情報交換の場として、2005年から月例会やセミナー、支援機器のワークショップを開催しています。

今回のセミナーでは、長野県の特別支援学校の自立活動専任として、自閉症から重度重複障がいの子どもたちまでの支援に携わっていらっしゃる矢島悟氏から、コミュニケーション支援の実践例を多数紹介していただきます。また、ワークショップでは、実際に支援機器に触れたり、パソコンでPowerPointを使った教材制作の講座を開催します。そのほか、支援に関する様々な機器や玩具の展示の他、書籍の販売も予定しています。コミュニケーション支援に関する様々なヒントが得られるセミナーです。

9月4日(日) プログラム	
9:30-	受付、機器展示
10:00-10:10	オープニングトーク
10:10-12:00	講演 矢島 悟 (長野県伊那養護学校 教諭) 「スイッチとシンボルで広がる子どもの世界 ～特別支援学校での実践を踏まえて～」
12:00-12:50	昼食、機器展示、書籍販売 パシフィックサプライ、アクセスインターナショナル、iWANT、スペース96
12:50-13:20	質問回答 (あらかじめ質問用紙を配布し、昼休み中に提出して頂きます。)
13:20-14:00	ワークショップ① さわってみよう支援機器 グループに分かれて展示されている支援機器を試用します。
14:10-15:40	ワークショップ② パワーポイント教材制作講座(入門編) スイッチ教材、シンボル等を使った視覚支援教材など、実際に作りながら教材制作のポイントを学びます。シンボルやすぐに使える教材等も配布します。 ・PowerPoint インストール済みのノートパソコンをご持参ください。 ・電源は準備できませんので、十分充電してきてください。 ・パソコンを持参できない場合は見学参加となります。
15:40-15:50	クロージングトーク ※16:10まで機器展示を行います。

【講師紹介】矢島 悟 氏 (長野県伊那養護学校 教諭)

信州から視覚支援のすばらしさを発信し続けている『E-Yo!視覚支援club』のリーダー。現在は、特別支援学校の自立活動専任として、自閉症から重度重複障がいの子もたちまでの支援に携わっています。その生み出す教材の数々から『Mr.YAJIC』と呼ばれています。また、家庭でも自閉症の息子を持ち、24時間支援に明け暮れる毎日を送っています。

ブログ「Mr. YAJICの特別支援教育」(<http://blog.livedoor.jp/ya-jic/>) を公開中。

日時	平成23年 9月4日(日) 10:00~15:50 (開場9:30)
会場	仙台市福祉プラザ 1階プラザホール http://www.shakyo-sendai.or.jp/fukushi/
参加費	一般 1500円、学生 500円 (当日受付でお支払いください。)
申込方法	お名前・ワークショップ②での制作の有無・所属・連絡先(メールアドレスやFAX番号)等を、メールまたはFAXでお知らせください。 申込期限: 8月26日(金) (当日参加も可能ですが、名札や資料の作成の都合があるので、できるだけ事前申し込みをお願いします。) メール: rabo_event@yahoo.co.jp FAX: 022-718-1987
問合せ方法	上記メールアドレスかFAX番号まで、問い合わせ内容と連絡先をお知らせください。折り返し、事務局から連絡させていただきます。
主催	楽暮プロジェクト(宮城にAACとATを広める会) http://www.geocities.jp/rabopj/

会場案内

仙台市福祉プラザ (1階プラザホール)

仙台市青葉区五橋2-12-2

TEL. 022(213)6237

<http://www.shakyo-sendai.or.jp/fukushi/>

アクセス

地下鉄: 五橋駅下車(南1番出口より徒歩3分)

市営バス: 市立病院 福祉プラザ前 下車(徒歩3分)

福祉プラザの駐車場は利用できません。
公共交通機関、または、周辺の民間駐車場をご利用ください。

